令和 6 年度　東京都内湾水生生物調査　5 月鳥類調査　速報

●実施状況

令和 6 年 5 月 10 日に鳥類調査を実施した。調査当日は大潮で、干潮が 12:16（-7cm）、満潮は 05:12（192cm）であった（気象庁のデータ）。各地点の概況を下表に示す。

	葛西人工渚(東なぎさ)	森ヶ崎の鼻	お台場海浜公園
調査時刻	08:46-10:26	11:18-12:27	12:51-14:27
調査時間(分)	100	69	96
天候	晴	晴	晴
気温(℃)	19.0	20.8	23.3
風向	南	南	南
風速（m/sec）	1.3	7.1	6.0
備考	三枚洲付近に採貝と思われる船舶と数名の人の立入りがあった。	最干潮前から干潟は広く干出していた。干潟の東側に数名の人の立入りがあった。	第六台場及び鳥の島周辺の海上はうねりが大きかった。公園側は人の立入りがとても多かった。

●主な出現種等

	葛西人工渚(東なぎさ) ※沖合含む	森ヶ崎の鼻	お台場海浜公園
数が多かった鳥類上位 3 種	カワウ(147 羽)	ユリカモメ(32 羽)	カワウ(2523 羽)
	ウミネコ(97 羽)	キョウジョシギ(13 羽)	キョウジョシギ(89 羽)
	ユリカモメ(64 羽)	カワウ(6 羽)	アオサギ(23 羽)
備考	・クロツラヘラサギ、ホウロクシギ、アカアシシギ等、重要種として 22 種を確認。 ・12 種のシギ・チドリ類が確認され、ほとんどが干潟で採餌。 ・干潟でカワウとカモメ類が休息、サギ類が主に採餌していた。クロツラヘラサギ 1 羽が採餌。コアジサシが波打ち際を飛びながら採餌。 ・ヨシ原でヒクイナの鳴き声を確認。 ・ミサゴ 1 羽が上空を飛翔。	・シロチドリ、コアジサシ等、重要種として 10 種を確認。 ・6 種のシギ・チドリ類が確認され、ほとんどが護岸沿いの狭い干潟で見られ、コチドリは護岸で採餌していた。 ・干潟でカワウとカモメ類が休息、サギ類は主に採餌。 ・コアジサシは上空を飛ぶ 3 羽が確認されたのみ。森ケ崎水再生センター屋上での営巣はまだ始まっていない。	・ハヤブサ等、重要種として 10 種を確認。 ・第六台場と鳥の島でカワウが営巣中。巣数は第六台場 312 巣、鳥の島 62 巣で合計 374 巣。巣内に雛が見られたほか、営巣地や岩礁で幼鳥を確認。個体数は合計 2523 羽。 ・サギ類はアオサギとダイサギ、コサギの 3 種で、営巣は確認されなかった。 ・5 種のシギ・チドリ類が鳥の島とお台場海浜公園で確認された。令和 5 年度に続き、メリケンキアシシギ 1 羽が鳥の島で見られた。 ・第六台場上空でハヤブサが小鳥を捕食。

●出現種と個体数

No.	目	科	種名	令和6年 5月 葛西人工渚(東なぎさ) 範囲内	葛西人工渚(東なぎさ) 沖合	葛西人工渚(東なぎさ) 合計	森ヶ崎の鼻	お台場海浜公園 第六台場	お台場海浜公園 鳥の島	お台場海浜公園 公園側	お台場海浜公園 合計	重要種 選定基準 文化財保護法	種の[*1]保存法	環境省[*2] RL2020	東京都[*3] RL2023(区部)
1	カモ	カモ	カルガモ	4		4	2		1	2	3				
2			スズガモ	2		2			8		8				留
3	カツオドリ	ウ	カワウ	147		147	6	1278	1232	13	2523				
4	ペリカン	サギ	アオサギ	6		6	5	14	9		23				
5			ダイサギ	6		6	1	2	1		3				NT
6			コサギ	11		11	4	1		2	3				VU
7		トキ	クロツラヘラサギ	1		1							国内	EN	CR
8	ツル	クイナ	ヒクイナ	1		1								NT	CR
9	チドリ	チドリ	コチドリ	1		1	2								CR
10			シロチドリ	2		2	2							VU	CR
11		ミヤコドリ	ミヤコドリ	58		58									VU
12		シギ	オオソリハシシギ	2		2								VU	EN
13			チュウシャクシギ	17		17	1			3	3				VU
14			ホウロクシギ	2		2							国際	VU	CR
15			アカアシシギ	1		1								VU	CR
16			アオアシシギ	1		1									NT
17			キアシシギ	11		11	1		3	7	10				VU
18			メリケンキアシシギ						1		1				
19			イソシギ	2		2	5		4	5	9				VU
20			キョウジョシギ	6		6	13		82	7	89				VU
21			トウネン	7		7									VU
22		カモメ	ユリカモメ	64		64	32			4	4				
23			ウミネコ	97		97	3			1	1				留
24			オオセグロカモメ	11		11								NT	
25			コアジサシ	53		53	3							VU	EN
26			アジサシ	1		1									
27	タカ	ミサゴ	ミサゴ	1		1								NT	EN
28		タカ	トビ	1		1		3	2		5				NT
29	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ					1			1		国内	VU	EN
30	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ	1		1	2	1			1				
計8目13科30種				28 種	0 種	28 種	15 種	7 種	10 種	9 種	16 種	0 種	3 種	10 種	22 種

※種の分類・配列は「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会,2012)に従った。

*1 文化財保護法：特天=特別天然記念物

*2 種の保存法：国際=国際希少野生動植物種、国内=国内希少野生動植物種

*3 環境省レッドリスト2020：CR=絶滅危惧IA類、EN=絶滅危惧ⅠB類、VU=絶滅危惧Ⅱ類、NT=準絶滅危惧、DD=情報不足

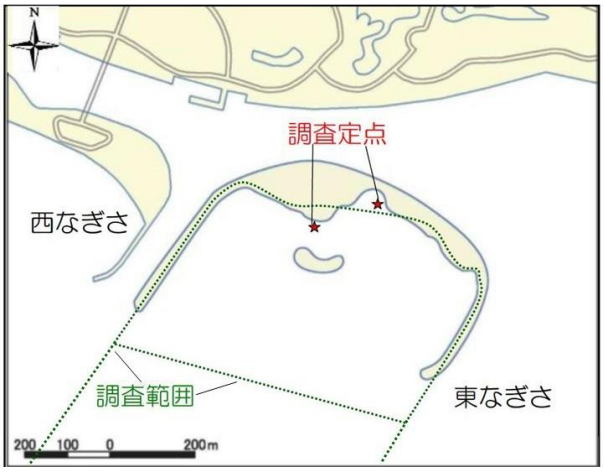
*4 東京都レッドデータブック2023(区部)2023年版：CR=絶滅危惧IA類、EN=絶滅危惧ⅠB類、VU=絶滅危惧Ⅱ類、NT=準絶滅危惧、DD=情報不足、留=留意種

＜葛西人工渚(東なぎさ)＞

〇調査地点の状況

干潟は中程度で、調査中に徐々に広がっていった。

西側の地点より南西方向を見る



〇出現種(シギ・チドリ類)

12 種のシギ・チドリ類が干潟で主に採餌していた。確認種はすべて東京都レッドデータブックに掲載されており、加えてホウロクシギが種の保存法で国際希少野生動植物種に、シロチドリ、オオソリハシシギ、ホウロクシギ、アカアシシギが環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。

〇出現種(クロツラヘラサギ)

干潟で採餌する 1 羽が確認された。本種は種の保存法で国内希少野生動植物種、環境省レッドリストで絶滅危惧ⅠB 類(EN)、東京都レッドデータブックで絶滅危惧 IA 類(CR)に指定されている。

〇出現種(アジサシ類)

波打ち際で繰り返し採餌飛翔するコアジサシ 53 羽が確認された。ほかにアジサシ 1 羽が海上を飛翔した。

〇干潟利用状況

干潟でカワウ、ユリカモメ、ウミネコの群れとオオセグロカモメが休息していた。汀線(ていせん)付近や水たまりでは、サギ類やシギ・チドリ類が採餌していた。一部のカモメ類は引き潮と共に沖の三枚洲に移動していた。

＜森ヶ崎の鼻＞

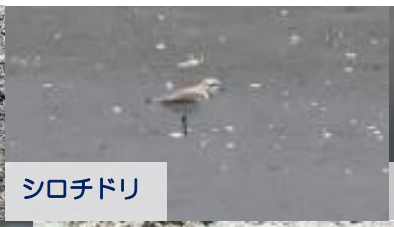
〇調査地点の状況

最大干潮時刻で、干潟が広く干出していた。

〇出現種（シギ・チドリ類）

6 種のシギ・チドリ類が確認された。確認種はすべて東京都レッドデータブックに掲載されている。

コチドリ


シロチドリ

チュウシャクシギ

キョウジョシギ

キアシシギ

イソシギ

〇出現種（コアジサシ）

コアジサシは上空を飛ぶ 3 羽が確認された。本種は環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類（VU）に、東京都レッドデータブックで絶滅危惧ⅠB 類（EN）に指定されている。NPO 法人リトルターン・プロジェクトによれば、5 月 12 日に 5 羽のコアジサシが確認されているが、営巣は始まっていない。https://littletern.hatenablog.com/entry/2024/05/13/000950

〇干潟利用状況

干潟を利用する鳥の個体数は少なく、分布はまばらで、カワウとカモメ類が休息、サギ類が主に採餌していた。シギ・チドリ類は、ほとんどの種が護岸沿いの狭い干潟を利用しており、中央部の広い干潟にいたのはシロチドリのみであった。

カワウ

コサギ

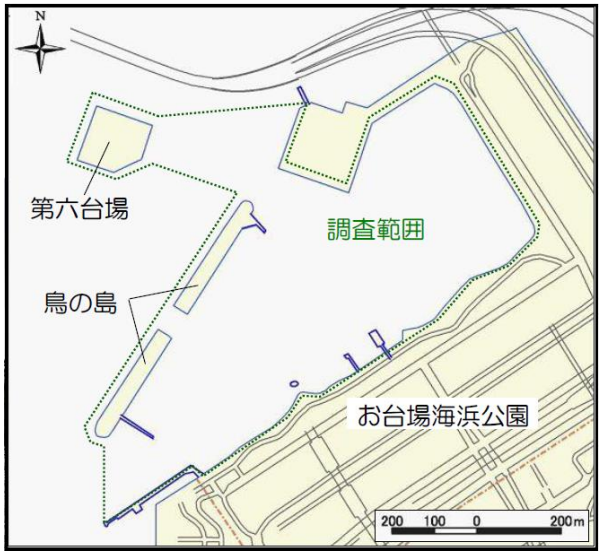
ユリカモメ

ウミネコ

＜お台場海浜公園＞

〇調査地点の状況

第六台場・鳥の島ではカワウの営巣が続いている。



〇出現種（カワウ）

第六台場で 312 巣、鳥の島で 62 巣、合計 374 巣が確認された。巣内には大きく育った雛が見られ、第六台場の護岸や樹林、鳥の島では幼鳥が見られた。

幼鳥

巣内の幼鳥

〇出現種（サギ類）

アオサギ、ダイサギ、コサギの 3 種が確認されたが、営巣はしていなかった。

アオサギ

ダイサギ

コサギ

〇出現種（シギ・チドリ類）

第六台場と鳥の島、お台場海浜公園で 5 種のシギ・チドリ類が確認された。キョウジョシギ 89 羽、キアシシギ 10 羽など種数・個体数ともに多く見られた。令和 5 年度に続き、鳥の島でメリケンキアシシギ 1 羽が見られた。

チュウシャクシギ

キョウジョシギ（矢印）とキアシシギ

メリケンキアシシギ

イソシギ

〇出現種（ハヤブサ）

若鳥 1 羽が第六台場上空を飛翔し、小鳥を捕食するのが確認された。本種は種の保存法で国内希少野生動植物種に、環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類（VU）、東京都レッドデータブックで絶滅危惧ⅠB 類（EN）に指定されている。

＜その他＞

砂町運河では構造物やその周辺でウミネコの成鳥 60 羽が確認され、そのうち 26 羽が営巣中と考えられた。巣はすべて構造物上にあった。巣内を直接確認することは出来なかったが、行動などから抱卵中と考えられる。ほかにカワウ 1 羽が確認された。

ウミネコが営巣する構造物

抱卵中と考えられるウミネコ

＜トピックス＞

-記録の少ないシギ類 2 種-

葛西人工渚で確認されたアカアシシギは、平成 13 年と平成 15 年に続き、3 例目の記録となる。同一個体と思われるアカアシシギ 1 羽が 5 月上旬から滞在しており、5 月 7 日に撮影された写真が葛西臨海公園鳥類園のブログで紹介されている。https://choruien2.exblog.jp/30942113/

お台場海浜公園で確認されたメリケンキアシシギは、令和 5 年度に続き 2 例目の記録となる。令和 5 年度と同様、鳥の島の護岸で 1 羽のみ確認され、崩れた石の間を歩きながらフナムシを捕食していた。

フナムシを捕食

護岸を歩く

キアシシギ

メリケンキアシシギ